
新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：「妊娠2ヶ月大」の子宮筋腫

47歳の主婦です。2年前から生理が非常に多くなり、最近では血塊もかなり出ます。開業医の診断では子宮筋腫で妊娠2ヶ月くらいの大きさとのこと。先生はホルモン注射を20日間ごとに6ヶ月続ける治療方法もあるといわれましたが、手術するかどうかわ迷っています。

(村上市・U子)

A：まず凝血減らしガン検査を

47歳という年齢を考えると、2年前から生理の量が多くなってきたり、不順になったりしても、必ずしも異常とは言えないと思います。しかし、血液の凝塊がみられるのは、診察を受けた先生の言われるように、子宮筋腫の場合によくみられる症状です。子宮筋腫には、子宮が新生児頭大からそれ以上に大きくなるものから、子宮は正常の大きさでも、子宮つち腔内に筋腫がある粘膜下筋腫というものもあります。したがって、内診による子宮の大きさだけで手術の可否を決められないこともあります。

妊娠2ヶ月くらいという子宮の大きさは、手術をした方がよいか、様子を見た方がよいか判断に苦しむところだと思います。ホルモン療法で出血量が減少したり、凝血がみられなくなれば、子宮ガンの検査をしてもらい、異常ないことを確認されて様子を見られたらよろしいと思います。ホルモン療法で、出血の状態が改善されない時は、子宮のレントゲンを撮ってもらって、子宮腔内に異常がないかどうかみてもらうことも必要です。

子宮筋腫で手術を行う場合は大きさでいうとこぶし大からこぶし大以上のことが多いわけですが、腹痛や腰痛が強かったり、過多月経といって、生理の量が多い場合、またたびたび生理がきてそのために貧血が強くなって、心臓に影響がみられたりする場合、他に原因がみられない時には手術の適応となります。